

## 第1回 千葉市ふれあい観察会

### 谷津田にはどんな生き物がいるのかな！～金光院の自然と歴史

萩 将勝（千葉市）

日 時：2019年5月25日（日）9:00～12:00 天候：晴れ

参加者：19名（大人16名 子ども3名）

観察コース：御茶屋御殿跡⇒金光院⇒金光院谷津田（ビオトープ）⇒御茶屋御殿跡

担当指導員：岡田敬子 金子美幸 萩将勝 芳我めぐみ 山下美佐子 山岸文子

事務・運営：伊藤道男

やや気温は高いが、絶好の観察会日和。運動会と重なったせいか申込者が少なく急遽事務局の方で人集め、おかげで19名の参加者、初めに事務局よりコース説明と注意点を、2班に分かれ出発です。駐車場入り口のクワの木にキジラミ幼虫、葉裏が白い綿毛で包まれている、隣の栗には虫こぶのクリメコブズイフシ、歩道にはハナミズキ花も終わり青い実が、セブンイレブンにてトイレをお借りし間道に入る。ミツバアケビの青い可愛い実、ヒメコウゾのとげとげの実、下見では見られたハルジオンの花にいたハナムグリ、今日はいない。葉の上にカマキリの幼体、クリノキにオトシブミ、成虫がいらないか探す。いたいたゴマダラオトシブミ、逆光で斑点が見ずらいが皆さんシャッターを押す。田んぼにはキショウブがお出迎え、シオヤトンボ、オタマジャクシ、畦にタチイヌノフグリ、小川にはメダカの群れ、道に出るとポポーノキにバナナを小さくしたような小さな実、ウワミズザクラにも可愛い実がついている。金光院に入る。ここで水分補給、金光院の簡単な説明をし、境内にあるシキミ、“御手掛の桜”、今花の終わったハウノキ、出口の両脇にも太いケヤキ等を観察、皆さん歴史を感じられたのではないのでしょうか。谷津の側道に出る。サトキマダラヒカゲ、ベニシジミ、等のチョウチョ、林縁には、ウツギ、ガマズミの白い花、良い香りのスイカズラ、サルトリイバラにはルリタテハのとげとげの芋虫。ここで林縁を行く植物班と谷津の小川沿いを行く動物班に分かれてビオトープまで行く。途中、小川沿いの道を歩くたびにニホンアカガエルが川に飛び込む、ヤナギからは白い綿毛が風に吹かれて空に舞い上がる。ヘビがいたとの声に一瞬皆ギクッとする。林縁の高いところにヤマボウシの白い花が見える。時間通りにビオトープに到着。ここで水生動物の捕獲開始、瞬くうちに、オタマジャクシ、ドジョウ、メダカ、ザリガニ、エビ、ヤゴ等捕獲、圧巻は卵を背負ったコオイムシ、自然の豊かさを実感する。採った生き物を観察し、元に返した後、ここをビオトープとして整備してきた岡田氏より整備活動の経緯、苦労話を伺い帰路に就く。道脇にはフタリシズカ、ウズグモの水平に張った巣、アオスジアゲハのわきに蛹の抜け殻がある。御殿茶屋に到着、四角い土塁に囲まれた草原にはバッタ等の昆虫が、いよいよ観察会も終了です。

皆さんの感想は、ここは初めて、自然が豊かで感激又来たいとのこと。初夏の一日自然を満喫しました。

